

## 2016年1月次【人事戦略フォーラム】のご案内



日本CHO協会の活動をリニューアルし、三年が経過しました。おかげさまで当協会は現在300社を超える企業から約500名の人事部長・人事課長層の方々に会員となって頂き、様々なプログラムにご参加頂くと共に、会員間の交流も深めてまいりました。

2016年も引き続き、会員の皆様の課題やニーズを踏まえた様々な切り口のテーマをご用意致しますので、引き続きよろしくお願い致します。

さて新年第一回目の人事戦略フォーラムは、前年までと同様に「成長戦略と人事」と題したテーマで、「全日空」と「富士フイルム」という着実に成長を遂げている2社の企業戦略と、それを支える人事の具体的な取り組みをお話頂きます。

また、今回はフォーラム終了後、新年の賀詞交換会も予定しております。軽食と飲み物をご用意致しますので、会員同志の情報交換・名刺交換の場として是非ご活用下さい。

参加を希望される方は、裏面の申込書にて会員申請の上、お申込み下さい(入会金・年会費・参加費無料)。

### プログラムのご紹介

#### 「成長戦略と人事」～2社の取り組み事例紹介～

日時：2016年1月19日(火) ◆第一部(フォーラム) 16:00~18:00 ◆第二部(賀詞交換会) 18:00~

場所：パソナグループ本部ビル1F研修室(〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4)

#### 事例紹介 1

#### ANAのグローバル展開を支える人財戦略



全日本空輸株式会社  
上席執行役員 人事部長(兼)ANA人財大学長  
**國分裕之氏**

#### メッセージ

現在、ANAグループはグローバルレベルでの熾烈な競争に晒されていますが、この本格化するグローバル競争を「人的競争力」即ち「人の力」で勝ち抜いていきたいと考えています。ハード面は直ぐに追い付かれますが、ソフト面(=人の創り出すサービス・品質)は簡単には追い付かれません。

私達の人財開発のポリシーは『模倣困難な価値は、挑戦する多様な人財が創造する』です。専門性の深化と並行して、人財育成を縦(キャリアパス)・横(組織横断・階層別)の両面から推進し、また牽引役としての幹部を如何に計画的に育成していくかが人事部門に与えられた最大の課題です。

本フォーラムではグローバル人財育成、ダイバーシティ&インクルージョン推進を中心に、グローバル展開を支える当グループの様々な取り組みをご紹介します。

#### プロフィール

東京大学経済学部を卒業後、1982年に全日本空輸株式会社に入社。羽田空港、整備部門、勤労部、運航部門にて主に人事・労務に携わる。2007年全日空商事株式会社総務部長、2012年ANA人事部長、2013年執行役員人事部長(兼)ANA人財大学長に就任し、現在に至る。

#### 事例紹介 2

#### 富士フイルムグループの変革と成長戦略・人事戦略



富士フイルム株式会社  
執行役員 人事部長 総務部 CSR推進部 管掌  
**吉沢勝氏**

#### メッセージ

高収益優良企業が一転し、主力事業の消失危機に直面した富士フイルム。2度の構造改革を含む困難を乗り越えて、医薬品・医療機器などのヘルスケア、高性能材料、ドキュメント事業を中心に成長する新たな企業グループに生まれ変わりました。

本講演では、事業構造の転換を推進した「人と組織」のこれまでの変革の概要を明らかにします。さらにコーポレートスローガン“Value from Innovation”の下、再生医療事業を新たに加えた富士フイルムが目指す成長戦略と、それを進めるための働き方の変革運動 “Work Style Innovation”をご紹介します。

#### プロフィール

1957年長野県生まれ。1980年京都大学経済学部卒業後、富士写真フイルム(株)に入社。国内外の工場に18年勤務し、主に経理・企画分野でキャリアを磨く。2007年4月富士フイルムホールディングス(株)IR室長、2011年6月富士フイルム(株)人事部長、2012年より同社人事部長(現職)。

